

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校校務用パソコン整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	学校教育課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	遠藤 由樹			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校の教員	意図	事務の効率化及びセキュリティ強化
事業内容	校内ファイルサーバーの設置、セキュリティ強化、校務支援ソフトの導入、資産管理ソフトの導入、職員室等のLAN整備、校務用パソコンの計画的な更新を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年度から校務用支援システムの賃貸借、保守及びパソコンの整備に努めている。校務用パソコンの購入は、平成28年度から4年間で510台のパソコンを購入し、更新していく。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		小学校校務用パソコン整備事業執行率		27.84	52.16	%	↑↑↑
	校務用パソコン購入台数		142	124	台		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						平成29年度までに266台の校務用パソコンを購入してきた。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			29,277,407	27,240,560			
事業費(b)(円)			28,934,157	26,904,960			
うち一般財源			28,934,157	26,904,960			
職員給与費(c)(円)			343,250	335,600			
人役・職員(人)			0.05	0.05			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	校務用パソコンを、平成28年度からの4年間で510台購入していく計画に従い、購入・更新を行う。	取組の課題	校務用パソコンの老朽化による校務への支障の状況を捉えながら、優先順位をつけて更新を行う必要がある。
今年度(H29)に実施した取組	計画通り124台のパソコンを購入し校務用パソコンの更新を行った。	今後(H30以降)の改善計画	校務用パソコンの老朽化による校務への支障の状況を把握し、計画的な更新を行う。